

道路クリーン作戦に多くの町民が参加
580kgのごみを回収



5月11日、津別町及び津別町環境衛生推進協議会主催による「道路クリーン作戦」が、ごみゼロ運動の日（5月30日）に先駆けて実施されました。多くの町民にご協力いただいたごみ回収作業は、ふれあい公園パークゴルフ場から美幌町との境界までの町道3号線沿いで行われ、参加者は数人のグループに分かれて沿道に捨てられたごみを拾いました。

例年通り、空き缶、ペットボトル、タバコの吸殻が多く見られましたが、中には大型ごみを捨てる悪質な不法投棄もあり、回収されたゴミの量は580kgにも及びました。

今後ごみゼロを目指し、皆さんのご協力をお願いします。

自然の魅力と大切さを学ぶ
ツリーイング体験会実施



5月19日、21世紀の森キャンプ場でツリーイング体験会（主催・津別「げんきの森」活用推進実行委員会）が行われました。

ロープを使って安全に木登りをするツリーイングは、木と直接触れあうことで自然の魅力や大切さを学ぶことができる自然体験活動です。

体験会は午前と午後に行われ、子ども20人、大人3人が道東ツリーイングクラブのインストラクターから指導を受け、10mほどの木に挑戦。

初めはロープの扱いに苦戦していましたが、すぐに慣れて上手に登っていました。参加者は自然と一体になる木登りの楽しさを体感するとともに、高いところからの眺めを満喫していました。

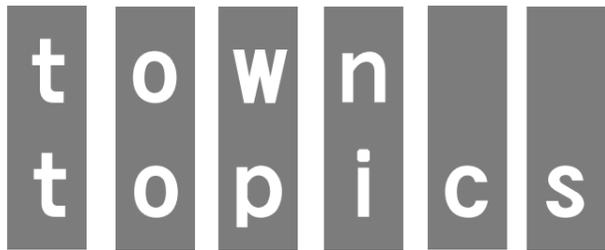
子どもたちの交通安全を願い
建設産業団体が交通安全旗を寄贈



4月18日、建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部（野口謙一支部長代理）から教育委員会に、交通安全旗80枚が寄贈されました。

黄色地に真っ赤な文字で「交通安全」と染め抜き、エゾ鹿のイラストをあしらった遠くからでもよく目立つこの旗は、町内小学校、中学校の周辺道路沿いを中心に掲げられ、交通事故防止の注意喚起に役立てられます。

ドライバーの方はもちろん、歩行者の皆さんも交通ルールを守り、事故防止に努めましょう。



まちのわだい

ドライバーに安全運転を呼びかけ
津別駐在所前で交通安全啓発実施



『春の行楽期の交通安全運動』初日にあたる5月15日、津別駐在所前の国道240号で交通安全啓発が行われました。

ときおり小雨が降る中、津別ライオンズクラブ、役場グリーンドライバーズクラブ、津別町交通安全協会の共催3団体のメンバーらが、通りかかった車のドライバー一人ひとりにドリンクやチラシ、ポケットティッシュなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。

車で行楽地へ出かけ、機会が増える季節ですが、皆さんもスピードを出しすぎないなど、安全運転を心がけましょう。

春の火災予防運動
防火パレード実施



4月20日、津別消防署及び消防団による防火パレードが行われました。

女性消防団員が掲げるプラカードを先頭に、自治会連合会や津別消防後援会、津別町防火管理連絡協議会、老人クラブ、ハツピ姿の青葉幼稚園児と父母など110名の徒歩隊と7台の車両隊が消防署前を出発し、火災予防を呼びかけました。

火災予防運動期間中には火災出動はありませんでした。これから火の取り扱いには十分注意してください。

走りやすいグラウンドで運動会を
舗装会社が整備ボランティア

5月20日、運動会シーズンを前に、株NIPPON北網統括事業所（松浦富義所長）が、本岐小学校と活汲小中学校でグラウンド整備作業を行いました。

同社のボランティア事業の一環として、平成22年度から町内の小中学校で実施されており、今年で4回目になります。

トラクターを使った整地や、ローラーによる踏み固め作業でグラウンドはすっきりきれいになり、子どもたちは良好な環境で競技をすることができそうです。



自分の記録に挑戦
少年少女体力測定会を実施

小学校全学年を対象にした少年少女体力測定会が、5月18日に農業者トレーニングセンターで行われました。

教育委員会とスポーツ少年団本部の共催によるもので、子どもたちの成長や運動能力の向上を継続的に見守るために、春と秋の年2回実施しています。

今回は57人の児童が参加し、握力測定や反復横跳びなど6種目で自身の運動能力を確認しました。



『ラジオ体操inさんさん館』が今年も始まりました

津別町多目的活動センター（さんさん館）で、今年もラジオ体操が始まりました。

参加者には1か月毎のスタンブ用紙を渡しており、休まず来られた方には、津別まちづくりセンター運営協議会から月間皆勤賞が贈られます。

健康づくりのために奮ってご参加ください。

時間 毎朝6時30分、
場所 さんさん館ウッドデッキ及び駐車場
雨天の場合は軒下利用

